



## セラピストが持つべき、 人の身体に 携わる際の心構え

人の身体に触る以上、その人に対する説明責任が必要となります。患者さんの身体が今どのような状態なのか、そのためにこれかどのような施術をするのか、ということとをきちんと相手に伝えることが大切です。またセラピストが人間の身体を100%治すことはできません。西洋医学の医者でさえ5%の治癒率と言われています。代替医療の業界では2~3%でしょう。ただしその少しの力を与えることによって、人の身体が持つ自然治癒力に十分に影響を与えることができます。そういう気持ちで施術に携わって欲しいです。これは説明責任の部分ともつながります。患者さんにきちんと説明をすることによって、患者さんに心理的な好影響を与え、患者さんの自然治癒力が増し、快方に結び付く。手技だけではないのです。

それからセラピストは常に勉強が必要だということです。一生勉強です。わからないことがあれば文献で調べる。または臨床経験の豊富な分る人に聞く。仲間同士で情報を提供し合うことが大切です。例えば、ある疾患に対してどのような施術が有効なのか、ちゃんと調べて対応し、それが自分自身の臨床経験となる。さらにその情報を必要な仲間がいたら、それを伝えていく。このように業界内がお互いに協力関係にないと、社会から取り残されてしまいます。IHTAも

そのような、協力関係を創っていく場として、コミュニケーションの橋として、セラピストの皆さんに活用していただければ良いと思います。成功例はもちろん、たとえ失敗例であっても、その情報を共有することによって他の人が同じ失敗をしてしまうことを防ぐことができます。医療的な知識は西洋医学の医者の方が豊富ですが、私たちが多くの臨床経験を共有化したり、きちんと説明責任を果たしたりすることによって、西洋医学とは違った私たちセラピストの価値が確立できると思います。

その他にも勉強面では、いろいろな勉強をして多くの引き出しを持っていただきたいというのが私の考えです。「自分の技術はこれだけだ」という狭い考えではなく、いろいろな技術を勉強して欲しい。柱となる技術を持ったうえで幅を拡げることによって、より多くの症例に対応が可能となります。それに世の中に確立している技術には、何らかの良い点必ずあります。その部分を取り入れていくことが、技術の向上、セラピストの成長につながります。良い先生がいたら、どんな学びに行けばいい。「教えてもらえないかな?」という不安もあると思いますが、私からしたら、出し惜しみする先生など考えられないです。色々な自然療法を試すことは、それが正しい方法であれば、その人の治療に効かなかったとしても、書があるわけではありません。色々な療法を知ったうえで、効く確率が高い方法を試せばいいし、ハードなやり方やソフトなやり方と、その患者さんに合った方法を取ることができます。また即効性よりも「効いているのかな?」くら

いに感じる施術を、ある程度時間をかけて施すことが自然療法の特徴です。そのため西洋医学にある副作用がありませんし、より根源的なところを改善することができます。姿勢や、もっという基本的な生き方などに忠部の原因がある場合も多いですが、そういう複雑な問題を修正するためには、色々なセラピーの中から探した方が治癒の可能性が高いでしょう。だから身につけられるのであれば、皆さんも色々な手技を身につけて欲しいと思います。IHTAでも、そういう色々な療法を紹介していきたい。それを広めて啓蒙していいことが必要だと思っています。

## IHTAの 今後について

IHTAの活動のペースをどこに置くかということになると思うの

ですが、まずは健康セミナーを通して啓蒙活動をしていくことです。プロフェッショナルに対してととも、一般の健康志向の方々への啓蒙活動をしていくことです。もう一つは認定資格の種類を増やしていくことですね。先ほどの話に通じることで

が、世の中の多くのセラピーを正しく広めていくための一つのアプローチとして、認定資格というのは有効な方法だと思っています。またセラピーだけでなく、予防医学全般の幅広い範囲で健康に貢献することです。

先日ある自然農法家から聞いた話ですが、自然農法を行っている農家の方たちのほとんどは、健康を食の安全の面からだけか考えていないということでした。いくら健康的な野菜ばかり食べていても、適度な運動などによりカロリーを消費しないと、身体どこかに負荷がかかります。これではいくら良い野菜を食べても片手落ちですね。セラピーで身体を整えることはもとより、食、運動など総合的に考えないと、かえって不健康になってしまうかねません。

ですからIHTAは、予防医学という広い視野で活動を行っていきたい。おおらかな気持ちで携わっていただければ良いではありませんか。人が健康になる方法があれば、どのようなことでも取り入れていきたい。そんなふうと思っています。



国際ホリスティックセラピー協会 理事長  
SPORTS Pacific Heaven BODY総院長  
柳ヶ丘整骨院総院長  
カイロプラクター / 実道監査師

## 秋山 融

TOHRU AKIYAMA

多くのアスリートやタレント、ミュージシャンの治療や調整をおこなうとともに、「A.P.J」理論に基づいた健康グッズや美容健康法の開発・開発に積極的に取り組んでいます。